

## 第2回FIA技術講習会を終えて

株式会社 相馬光学  
浦 明子

FIA 技術講習会の基礎コースに申し込み書を FAX した時、正直に言いますと「基礎といっても私のような FIA 初心者には、まだまだついていけない講習内容なのだろう。」と  
思っておりました。会社の命令なので仕方がないと多少憂うつな気分で、会場に足を運び  
ました。しかし、講習が始まりますとそんな気分は一掃されました。その内容は①ポン  
プ流量の確認（毎分当たりの流量を測定し検量線を作成する）②サンプルループの長さ、  
内径を変化させ、ピーク高さ及びピーク幅への影響を見る。そんな中で私が一番関心を持  
ったのは、つまらないことかもしれませんがラインコネクションの作成でした。フレアー  
型の配管方法には通常、電気ゴテでチューブを拡げる方法があるという事は、ユーザーの  
方々からお聞きしておりましたが、実際自分自身で体験してみてユーザーの方々がどんな  
ものを次に求めているのか、多少なりとも理解できた様な気がいたしました。今回の講習  
会は、ほぼマンツーマン形式でしたので講師の先生方の熱心なご指導に、充実した時間を  
過ごすことが出来ました。特に講師の先生方や実行委員の方々が、自らお手本を示して下  
さいましたし、緊張することなく解りやすく楽しみながらでしたので時間が経つのが早く  
感じられ、私自身は理解しようという意欲の湧く講習でした。これまで断片的にしか理解  
していなかった事を、基礎から教えていただいたのでおぼろげながら全体像がつかめたよ  
うな気がいたします。又、夕方からの懇親会では普段聞く事のできない先生方の貴重なお  
話をお聞きすることができ、沢山の尊敬する先生方とお知り合いになることができました  
ので充実した貴重な1日を送ることができました。

私は FIA に関わる検出器メーカーの一員として、まだまだ勉強不足であり解らないこ  
とばかりですが頭で理解しようとするばかりで、今回のように自ら体験することが少ない  
ために前に進むことが容易ではありませんでした。今回、技術講習会に参加してわずか  
ですが自信めいたものが生じた気が致します。早速 FIA システムを組み上げて、新たな FIA  
システムへの研究を進めたいと思います。また今回のような講習会が再度開催されるなら  
ば、私もまた参加する事を希望致しますし、今回のような内容は、FIA に携わる方々に  
是非、受講していただきたいと考えます。

終わりに熱心に指導して下さいました講師の先生方、そして FIA 研究懇談会に感謝申  
し上げます。